

3期宮若市子ども・子育て会議（第3回）議事録

日 時：令和元年10月15日(火)18:30～20:20

会 場：宮若市中央公民館学習室

出席者：三木委員（会長）、杉山委員（副会長）

古澤委員、今永委員、日吉委員、寺敷委員、五嶋委員、吉水委員、八尋委員、小島委員、
宇野委員、植村委員、桝崎委員、日高委員、吉田委員

事務局：灘波調整監

子育て福祉課：東課長、齊藤課長補佐、松尾係長、谷口事務主査、橋本主事

教育総務課：尾藤課長

議 題

- (1) 宮若市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（資料①、②）
- (2) 第2期宮若市子ども・子育て支援事業計画（案）について（資料③、④）
- (3) その他
 保育無償化について
 宮若市子ども・子育て支援事業計画におけるスケジュール及び宮若市
 子ども・子育て会議の次回開催について

・議題（1）資料①、②について事務局より報告

（2）資料③、④について事務局より報告

（3）その他について

 保育無償化について及び宮若市子ども・子育て支援事業計画におけるスケジュー
 ール及び宮若市子ども・子育て会議の次回開催について事務局より報告

・委員からの意見、質問と回答

（委員）

 資料① 4頁 1号認定について

 宮田南幼稚園・宮田北幼稚園の3歳児教育を開始して欲しい。また、保護者に対してニーズ調査を実施し、実際の保護者の声を聞いて欲しい。市内において、保育園や幼稚園等、もっと選択肢が欲しい。さくら幼稚園の3歳児教育募集の案内については、夏前に広報してもらおうと保護者の選択肢が広がって良かったと思う。

（事務局）

 平成30年度からさくら幼稚園において3歳児定員10人で募集したところ、8人入園した。宮田北幼稚園、宮田南幼稚園では園児数が減少傾向にあり、幼稚園定員の人数確保は困難な状態で

ある。そのため、宮田地区においても 3 歳児から若宮幼稚園へ入園出来るように行ったところである。公立幼稚園とは言え、園児の人数確保、幼稚園教諭確保等、費用対効果も考慮に入れて運営を行っていく必要があるのでご理解いただきたい。また、さくら幼児園における 3 歳児教育開始の周知について、事前準備などがあったため夏前に周知出来ず申し訳なかった。

(委員)

資料① 55 頁 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）について宮田地区も実施して欲しい。10 月からの幼児教育・保育の無償化のチラシが届いたが、宮田地区の公立幼稚園（宮田南幼稚園、宮田北幼稚園）に在園している子どもの保護者は、預かり保育の資料が届いても、預かり保育は行っていないのに・・・と複雑な思いをした。

(事務局)

10 月からの幼児教育・保育の無償化については、病児保育事業など預かり保育以外の事業も対象となることから、皆さんに配布を行っている。

(委員)

資料① 55 頁 一時預かり事業（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり）について市内全体で幼稚園の預かり保育を実施して欲しいが、夏期休暇中の預かり保育も実施して欲しい。夏期休暇中の預かり保育を実施すると、保護者の中には保育士資格等の所持者がいるので、待機児童対策にもなると思う。保育士資格等の所持者でなくても、働きたいと考えている保護者に対しても好評だと思う。

(事務局)

幼稚園教諭確保など検討する必要があるので、すぐに実施するのは難しい。ご意見を踏まえて、検討していきたい。

(委員)

待機児童対策について

市において、待機児童対策はどう考えているのか。宮若市より人口の多い飯塚市と待機児童数がほぼ同数のため、危機感がある。

(事務局)

平成 31 年度の入所希望数は前年より 100 人程増加したのが原因の 1 つと考えている。市内保育園と連携して、保育士確保策を実施しているが、保育士数は現状維持の状態である。また、今年度は認定こども園と保育園の 2 園開園し、3 箇所の企業主導型保育事業所が開園したことにより定員は増加しているが、入園希望数に対応出来ない状況である。

また、保育の無償化が 10 月から開始したことにより、次年度の保育園入所希望数にどのように影響するか不透明で、判断は難しい。

保育士確保策については、今後も更なる対策が必要だと考えているが、困難な状況が続いている。

また、保育士の勤務体制など柔軟に対応できるように考えていきたいと思う。

(会長) 企業主導型保育事業所が開園したことにより選択肢が広がり、待機児童対策も担っているが、3号認定の居場所作りが重要と考える。

(委員)

資料③ 12頁 学童保育所について

学童保育所について、入所出来ない場合があるのか。福津市など近隣の市町村では待機児童がいると聞いている。入所できない場合、子ども達はどのような場所で遊んでいるのか。

(事務局)

現在、学童保育所について待機児童はいない。ただ、宮田南学童保育所は、定員を超えて受け入れを行っているが、有り様について既に検討を行っている。

学童に入所していない子ども達は、一旦帰宅後、小学校の校庭や若宮地区であればハートフルなどで遊んでいる。

(委員)

資料③ 12頁 学童保育所について

学童保育所の算出方法について、小学6年生など平成27年度から平成30年度までの平均を算出しているが、利用率が増加しているためそれを考慮して算出してはどうか。

(事務局)

検討する。

(委員)

宮若市子育て連絡会きらりんより意見要望が提出されているので発表を行う。

- 1、ベビーマッサージについて
- 2、乳幼児検診について
 - ①整理番号の取り扱いについて
 - ②幼稚園の預かり保育について
 - ③集団検診の必要性について
 - ④保健師の対応について
- 3、幼稚園について
 - ①納入方法について
 - ②宮田地区の3歳児クラス及び預かり保育について
- 4、不登校について
- 5、学童保育について
- 6、若宮スクールバスについて

7、保育所に関しての市のスタンスについて

8、中学校について

①スクールバス等について

②指導方法について